

**第2回
フォーラムの感想**
～ 感想カードより～

【感じたこと・考えたこと】

皆さん具体的に積極的に楽しそうに意見が出てまとめるのが大変でした。私的な感情でとらえて意見を出して困った点がありました。現実の新市づくりに取組む前向きな姿勢に一層の責任ある提言を痛感した。まちづくりはむずかしい。夢を実施する為に頑張らないといけないと思います。お互いの自分の主張だけでつばっていったら、良いまちづくりは出来ないけど、誰かがすばらしいリーダーシップをとってしてくれたら、すばらしいまちが出来ると思います。昨日溝辺町内での話し合いがあったが、この場に来てみんな共通の希望、不安をかかえている事がわかって安心した。希望である事を実現し、不安を解消していくのはむずかしいが、この仲間と共に少しでも理想のまちづくり目指して頑張りたいと思う。そして、溝辺に帰り、みんなに伝え、又意見をくみ取り、会に反映してあげたいと思う。前回より二歩も三歩も進んだ話し合いの内容で難しくなかへ意見を出せませんでした。でも、フリートークというスタイルを取っていただき助かりました。町の懇談会と話し合いのスタイルが違うので、フォーラムと同じように五つの分野に分けて欲しいと要望します。(町へ) 前回よりもとても充実していました。グループのみなさんがそれぞれ熱い思いを持っておられてとても勉強になりました。第1回の様子が「まちづくりニュース1号」で詳しく掲載されていて良かったです。グループ以外の思いを分りよかったです。第2回目の参加で、今回はある程度つっこんだ内容が出てきたように思う。今日は、具体的に施策を考えていく中で、期待する事もたくさん出て、前向きな検討でした。会が進むにつれて具体的な話題になってきて今後の会議への参加の様子が見えてきたように思う。いろいろな意見・提案が真剣に討論され、今後の合併に向かい住民主導型の合併も夢ではないと思う。具体的な話し合いをしたが、施策を考えるのはむずかしかった。具体的にどうすればよいか、施策としてとらえることがむずかしいことだ。みなさん、とても真剣に話し合いに参加されていて、スムーズに進行していました。町にもち帰り、さらに深めて行きたいと考えます。初めて参加させてもらって、早くまちづくりに関するテーマを見つけて、実現・解決できるようにしたい。教育・文化という話し合いとしては、形のない物を作るという作業になってくるが、メンバーの方々それぞれ苦労されながらそれぞれの町の意見を出されており、今後会を重ねる事で具体的な物にして行きたい。具体論になればやはり意見が出やすくなるし、各市町で準備してきているので、進行がスムーズでした。第2回で少し場慣れた様子に思います。今まで気付かなかった部分に新たな気持ちになり今まで以上に土地に愛着をもてるような気持ちです。生活環境というグループの中で家庭・地域の事をもっと真剣に取りくんで行きたいと思います。女性の委員の方々の活発な意見に感動しながら前向きに意見を出していこうと思います。ことばで語りましょうとの提案により、思いや具体性が出てきたように思う。1回目より2回目、各自の役割が自覚出来てきて思いが沢山出たのがよかった。町では情報不足などで、合併への積極的意見が多かったが、まちづくりフォーラムでは、思う存分語り合う中で、夢がふくらみ期待の実現化・不安の解消等まで話し合うことが出来た。施策の柱までまとまったようだ。各人の有意義な意見が聞かれて感動した。この意見が集約されて生かされた町づくりが出来よう行政の人に期待します。市町村合併で1つの行政にまとまって良かったというまちづくりに期待します。「福山町におけるフォーラム」と「まちづくりフォーラム」においての進捗状態(話し合い)が違い、少しとまどいを覚えた。今後は福山町においても少し突っ込んだ話しを持ち合っていきたいと感じた。健康・福祉においてもいろんな面での意見が出て、再認識する事が多かった。各分野においても詰めた論議があったようでご苦労様でした。2回目の開催との事で、手順もわかりはじめたため、各グループ委員ともうちとけ、活発な意見が出され、新市への熱い思いが伝わってきました。各町・市での話し合いの場が持たれ、その意見が反映されるためにも、最初の段階でもう少し綿密な計画が必要だったと思う。町の代表としての責任の重さを思います。住民の意見が反映するためにもいい場だと思います。

【言い残したこと】

産廃問題は総論で賛成、各論で反対という形で論議がなされた。ごみ問題とか自治公民館の運営についても大小の集落で差がありました。できるだけそれぞれのまちの特徴を生かせるまちづくりを望むことです。1市6町の未来都市として、信号無しで行ける交通網(モノレール等)出来たらいつも考えている。美しいまち並みを作れるよう住む人もモラルの高い人材育成も必要である。やたらと看板を取り付けない。高さ制限条例をぜひ実行していくべきである。地域の活性化のためには、住む所を確保し、自然を保護するために山間地に住む人がいることが必要だと思う。人の手が入らなくなったら、自然が破壊してしまうので、地方の住環境整備を積極的に取りくんでほしい。財政的な面までは(介護保険料など)未解決。難しい問題が山積みしているが、実現可能なところから前進して行けばよいのでは? エネルギーから、老後まで安心して住める町をつくってほしい。テレビCMから流れる情報をまともに受けて、曲がって行く知識、正しい情報提供で、安心して暮らせるまちづくり。老後の心配がいらぬまちづくりを目指してほしい。年老いても仕事をしながら地域で、協力して生活ができれば素晴らしいと思うこの頃です。

【まちづくりフォーラムについて一言】

なかなか時間が限られているため、もう少し時間がほしい。形にはまった進行はできるだけやめて、本質論になるべく時間をさくようにして欲しい。自分達の意見をまとめるのに精一杯。ほかのグループに対する意見や質問は考える時間がないですね。もう少し時間に余裕をもって話し合えたらいいのですが。グループ別に座長が発表する時、職員がガヤガヤ話し合いをするのはやめてください!気がそがれるし、集中できませんよ。いつも話し合いしやすい資料や会場作りありがとうございます。これからもよろしく願いますね!! 多くの意見がでて、2つ3つに絞られていく不安があります。多くの出た意見を見過ごさないでほしい。

まちづくりフォーラム

まちづくりニュース 第2号

新市まちづくりのために1市6町の住民代表による「まちづくりフォーラム・第2回会議」を開催しました!

7月1日(火)午後2時30分から国分シビックセンター2階多目的ホールでまちづくりフォーラム・第2回会議が開催されました。

第2回会議では、32名の方々が参加し、社会基盤、生活環境、教育文化、保健福祉、産業経済の5つのグループに分かれて、それぞれの分野ごとに「新市のまちづくりの施策」について話し合いがおこなわれました。

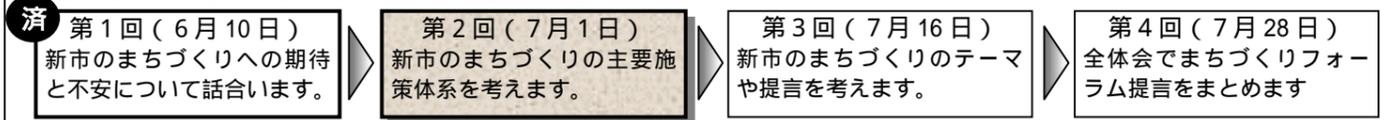
また、今回は、委員の親睦を図るため、会議終了後、8階レストランで親睦会も行われました。



～ 第2回プログラム ～

1. フォーラム代表あいさつ
2. 協議会事務局長あいさつ
3. まちづくりフォーラム
ステップ1: オリエンテーション
プログラムとスケジュールの説明。
ステップ2: 前回のまちづくりの「期待と不安」についてのまとめ
各グループから提出された「期待と不安」のまとめを説明。
ステップ3: 「新市のまちづくりの施策について話し合おう!」
各グループの担当分野ごとに施策の体系を整理。
ステップ4: 意見発表及び意見交換
グループごとに話合った結果を、グループの代表が他のグループに対して発表。
ステップ5: まとめ
ステップ6: 感想カード記入

まちづくりフォーラムの流れ



国分市・溝辺町・横川町・牧園町・霧島町・隼人町・福山町

発行: 怡良中央地区合併協議会(国分市役所内)
電話:(0995)45-5111 FAX:(0995)64-0940
編集: 玉野総合コンサルタント(株)

< 次回(7月16日)のまちづくりフォーラムについてお知らせ >

まちづくりフォーラム・第3回会議では、今回のご意見をもとに、それぞれの分野(グループ)ごとに**新市のまちづくりのテーマや提言**について検討していただきます。

新市のまちづくりの「期待」を実現し、「不安」を解消する「施策」を話し合いました。

新市のまちづくりの施策体系

5つのグループ(分野)に分かれて「施策」について話し合いました。



社会基盤

広域的幹線道路の整備
巡回バスの運営、新たな鉄道の整備
空港とI.C.と港とを結ぶ道路網整備
各ゾーン(定住)と連結した道路網整備
道路と産業の振興を促進
物流の拡大と観光施設の整備(海岸スポーツ等)
役所・施設を近づける情報通信網の整備(ADSL、光ファイバー、CATV)
市街地外での緑を生かしたまちの整備

生活環境

河川浄化(下水道、合併浄化槽の充実、市民意識の高揚、ボランティア団体の育成など)
公園整備(住民参加型の公園づくり)
ゴミ問題(ゴミ減量化、リサイクル意識の向上、ゴミポイ捨て禁止条例など)
やま・かわ・うみ一体のまちづくり(意識の改革)
産廃問題(処理場をつくるのであれば、公共管理型)

教育文化

学校(学校を選べる環境、地域で育む学校教育、だれでも使える巡回バスなど)
文化(光ケーブルにより情報の共有化、子供会、自治公民館、校区公民館の活用、郷土芸能伝統文化を伝える広報・報道など)
生涯学習(息の長い生涯学習、ソフト面の重要性など)

保健福祉

高齢者・生きがい対策(独居老人対策、若い世代との交流の場、地域貨幣を含めたボランティアの活性化など)
高齢者・福祉教育(小学校からの福祉教育など)
高齢者・介護(介護保険の負担軽減、グループホームなど)
障害児(者)福祉の充実
医療の充実(24時間対応、ドクターカー、ヘリコプター、温泉を活用したりハビリ、通院用の医療バスなど)
少子化対策(家庭教育の充実、虐待防止のネットワークづくり、出会いの場、子育て献金など)
充実した健康教育(第1次予防、幼児期からの食育の充実、地域の特色を生かした、健康教育など)
保健福祉に関する総合的計画

産業経済

観光に対する施策(観光ルート、マップ、観光バス、物産館など)
商業に対する施策(空き店舗活用、どこにも負けない商業地など)
農業に対する施策(ブランド化、広報、地産地消、JAあいらの方向性など)
住民の生活娯楽(家族で楽しめる娯楽施設、スポーツ施設など)
産業全般に対する施策(お互いの技術の提携をできる共同体の設立、地場産業の共有振興、企業誘致など)
自然の保護と活用(水を生かした新エネルギー、地熱発電、風力発電など)
その他ソフト施策(地域の声が反映できる体制づくり、行政マンのリーダーシップなど)

その他

企業誘致
周辺部の過疎化改善
税金・手当等
大学高専の活用
地域コミュニティ(拠点の整備、公民館、消防など)
電力問題
日本発祥の地、神話のふるさととしての自負アピール(2つの神宮、神武天皇お船出の地)
フォーラムでの活動
フリースクール(とじこもり防止)

施策のキーワード

施策の柱

空港・I.C.・港と道路の連携
各ゾーンと連結した道路整備
情報通信網の整備
役所・施設を近づける施策
情報発信とまちづくりの推進
道路整備による産業観光の振興を促進

下水道の整備
合併浄化槽の推進
市民意識の高揚
ボランティア団体の育成
自然を生かした公園整備
公園の維持管理の徹底
ゴミの減量化
リサイクルの推進
環境保全意識の向上
水源かん養
多自然型川づくり
自然保全活動の啓発

学区制の廃止、それぞれの学校の特徴を出す
光ケーブル・パソコン等による情報の共有化
人づくりとそれのための環境づくり、息の長い生涯学習

高齢者・障害者が「生きがい」を持って生き生きと生活できる環境を整える
24時間対応できる緊急医療の対策
基本検診受診の徹底
少子化対策のために家庭教育の充実と子育ての金銭的な援助(補助金など)
幼児期からの食育を含めた第1次予防のための健康教育の充実

全産業のネットワークづくり
観光をテーマとしたまちづくり
自然を生かした産業の振興
(交流人口を増やす)

委員のみなさんから提案された施策等は、別紙資料としてお配りします。



それぞれの分野についてみんなで意見交換しました。



一番の不安は、都市部と周辺部との格差だと思うが、その対策は?

格差をできるだけなくすための情報通信網の整備も考えられる。

リサイクル施設をつくることもいいのでは。

人が歩きやすいバリアフリーのみちづくりが必要

お昼の弁当までも自分で持って行ってボランティア活動をして、充足感をもつ、これが人づくり。

学校だけでなく地域全体で取り組み地域性を高め、人間性を高め、教育力を高める

地域の特産物のブランド名が薄くなっていく不安に対しては?

お互いに共有するという考え方。新しい市のブランド名を考えてもいいのでは。



まちづくりフォーラムのニックネームは、投票の結果「よかまちサミット」に決定しました。